



2023年1月25日

株式会社 阿波銀行

株式会社ヨコタコーポレーションの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社ヨコタコーポレーション（代表取締役 横田 勝己、本社：徳島県吉野川市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社ヨコタコーポレーション
所在地	徳島県吉野川市川島町学字辻4番地の2
代表者	横田 勝己
業種	製造・リユース業
設立	1960年4月14日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年1月25日



株式会社ヨコタコーポレーション 代表取締役 横田 勝己

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・社会・経済	社会課題解決に資する商品・サービス提供	SDGsのターゲットやゴールと自社事業のつながりに関して理解を深め、今後SDGsに貢献する製品・サービスの提供に取組みます。	① 社員のSDGs理解を深める、SDGsに貢献するサービスの提供		
			② 2023年よりSDGsに関する社内研修を年1回の社員研修に組み入れリユース店舗を2030年までに2店舗出店		
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。	① カーボンニュートラルへの取組み ～ 2035年度までにCN達成 ～		
			② 2030年までにCO2排出量35%削減 2025年までに3拠点で太陽光発電導入EV等の低燃費でCO2排出量が少ない社有車を2025年までに1台、2030年までに3台導入		
環境	地球環境への配慮	地球の海洋や緑を守るため、環境に配慮した取組みを行います。	① グリーン購入、エシカル消費、水を大切に汚さないための取組み		
			② 2025年までに環境配慮型商品の購入エシカル消費を30%推進 年1回、海辺・川辺等のボランティア活動に参加 2025年までに廃油の再利用を具体化		
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	① 地域の特産品・自然などの特色を活かしたイベントへの協力		
			② 月1回のこども食堂開催の継続（アワーズ）EV-TUKTUKを活用した環境教育PJおよび地域観光、地域交通への貢献事業着手		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。